

ダンスと身体2 「越境する身体」

講演・ワークショップ&ダンスパフォーマンス
木野彩子 (ダンサー・コレオグラファー)

2012年12月9日(日)14時-17時
入場無料

東京大学駒場キャンパス
東京都目黒区駒場3-8-1
コミュニケーションプラザ
身体運動実習室1
(大学生協の建物3階)
※お楽しみなワークショップもあります。
着替などの必要はありません

木野彩子氏の作品には
これまでの経験と記憶を乗り越える
「越境する身体」がある
微細な記憶の断片をたどり
過去から現在、そして未来に向けて
どのように作品世界を構築してゆくのだろうか？
講演とワークショップ、ダンスパフォーマンスから
越境する身体について探っていく

木野 彩子 Kino Saiko

お茶の水女子大学にて舞踊教育学を専攻。ソロを中心に自らの身体と向かい合った作品作りを続けている。"Edge"でYokohama solo duo competition2003 横浜市芸術文化振興財団賞を受賞。2004年、文化庁在外派遣研修員としてパリで研修、2005年よりロンドンにてRussell Maliphant Companyのダンサーとして活動。2009年からは神奈川と札幌を拠点に日本での活動を始める

主催：東京大学大学院総合文化研究科付属 共生のための国際哲学研究センター (UTCPC) <http://utcp.c.u-tokyo.ac.jp/>
共催：東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻 表象文化論コース

University
of Tokyo
Center
for
Philosophy

photo by Tsukada Yoichi